

2014年(平成26年)5月16日(金曜日)

留萌・宗谷

増毛山道復元目指すNPO



【増毛】江戸時代末期に開かれた「増毛山道」の復元を目指すNPO法人増毛山道の会（伊達東会長）は本年度、岩尾分岐―雄冬山（1197㍍）直下の1等水準点（標高1031㍍）付近まで約5㍍の復元を計画している。7月12日から計7回行う一般公募の体験トレッキングは、これまでの岩尾―別別間16㍍のフルコース、5㍍のミニコースに加え、10㍍のミドルコースと雄冬山直下まで行く19㍍のアタックコースを新設する。（野崎正夫）

トレッキング2コース新設

19㍍「アタック」雄冬山直下まで往復

7月から計7回体験会

増毛山道は町内別別―石狩市浜益区幌間の約27㍍。安政4年（1857年）、増毛場所の場所請負人だった伊達林右衛門が開いた。山道の会と留萌振興局が2009～10年度にかけ、町内別別―岩尾間16㍍を復元。11年度から留萌振興局との共催で体験トレッキングを行っている。ミニコースは午前中にトレッキング、午後からは町内の歴史的建造物を巡る。

岩尾分岐―雄冬山直下の水準点付近までのササ刈りは7月上旬から始める予定。これにより本線部分は増毛町側の別別―雄冬山直下付近の約16㍍が復元され、残るは浜益御殿（1038㍍）を経て石狩市浜益区幌に至る約11㍍となる。

伊達会長は「幌までの全線開通が最終的な目標。雄冬山までの開通で意識が高まれば」と力を込める。

アタックコースは林道で山道の途中まで登り、岩尾分岐を経て雄冬山の直下まで往復し、岩尾へ下山する。事務局長の小杉忠利さんは「雄冬山直下からは暑寒別岳が正面に見え、暑寒別連峰の景観が楽しめるコースになる」と話す。

体験トレッキングの参加者負担金はバス代や保険料など含めフルコースが2500円、ミニ、アタック、ミドルの各コースが4千円。各回20人で、6月上旬ごろから募集する。

体験トレッキングの日程は次の通り。

▽ミニコース 7月12日、8月16日▽フルコース 7月26日、9月13日、10月25日▽ミドルコース 9月27日▽アタックコース 10月12日

▽ミニコース 7月12日、8月16日▽フルコース 7月26日、9月13日、10月25日▽ミドルコース 9月27日▽アタックコース 10月12日